

設備導入を機に生産体制を見直し リードタイム短縮に不良率も低減

課題

施工性の高いドリルねじの 開発へのニーズ

大正15年創業の株式会社ミヤガワは、ドリルねじをはじめとする各種ねじ、冷間圧造による精密部品、ボルト類などを製造するねじメーカー。顧客の要望に応えながら、特殊なねじも開発している。

創業以来、同社は冷間加工技術にこだわり続け、冷間加工に必要な金型工具の設計製作技術やノウハウ、設備を有するのに加え、切削技術をもつのも強みだ。このため、冷間加工と切削加工の特徴と利点を引き出し、2つを組み合わせ、高精度で安定した品質を生み出している。また、ISO9001、ISO14001を取得し、環境に配慮した製造方式も徹底。こうして、一般的には材料が安価で加工しやすい鉄製ねじが多いなか、同社は加工が難しく耐食性の高いステンレス製ねじに特化し、住宅用ドリルねじの開発など高付加価値製品を生み出している。

同社が抱える課題はまず、建築用ビスに用いられるドリルねじについて、作業者の負担軽減となるよう、ドリル先の切れ味の向上、鋼板への穿孔時間の短縮などの施工性を高めることが求められていた。そして新規設備投資のための資金調達も必要だった。新たな設備導入を機に、同社は生産体制の見直し、優秀な技術者の技術承継等も課題とし、中期事業計画の立案の必要性とものづくり補助金の活用を検討。柏原市商工会と大阪府商工会連合会が支援を行うこととなった。

支援

強みとボトルネックを明らかにし 改善のため中期事業計画策定を

事業計画立案に向けて、商工会は現状のヒアリングを行い、生産体制・設備について同社と商工会の担当者で内容を把握した。さらに、個別の状況についてもヒアリングをしていくと、同社の強みとボトルネックが明らかになり、具体的な解決策について協議することができた。そのうえで、現状を改善するための事業計画策定を行い、ものづくり補助金の申請をした。

その後、中小企業等経営強化法に基づく経営力向上計画について同社に説明し、申請のメリットについてアドバイス。前回は、商品製造のための計画立案だったが、今回は金型製造のための体制構築などを含めたアドバイスだ。こちらも申



同社が製造するドリルねじ

請して承認となった。生産性向上計画とものづくり補助金申請のための事業計画作成支援も実施した。こうした新たな設備導入と生産体制構築によって、同社の製造は、リードタイムの短縮、不良率低減という効果を上げるに至った。

今後、同社の金型設計から製品までの一貫生産体制に加えて、新たな検査機の導入によって金型の内径が把握できるようになれば、試作品の手戻りがなくなり製造時間の短縮につながる。顧客の求める製品の製造能力が向上することで、さらなる受注増も見込める。

支援の経過

期間	支援内容
H26年3月	中期事業計画策定のためのヒアリング
8月	ものづくり補助金申請のための事業計画作成支援（採択）
H29年9月	経営力向上計画の作成支援
H30年4月	ものづくり補助金申請のための事業計画作成支援
8月	生産性向上計画の作成支援

会社概要

会社名：株式会社ミヤガワ
 住所：大阪府柏原市上市1-6-28
 電話番号：072-971-2880
 URL：http://miyagawa21.co.jp/
 代表者名：代表取締役社長 宮川 勤
 創業年：大正15年
 年間売上高：
 従業員数：108名
 商工会名・担当者名：柏原市商工会・堀内信彦